

みらい



JA鹿児島みらい 広報誌No.28



はららっぱ農園(P8)

9月号もくじ

- | | | | |
|-----|---------------|-----|------------------|
| P2 | みらいを創る | P17 | JADDOカード優待店舗のご紹介 |
| P4 | 年金友の会ゲートボール大会 | P17 | 広報誌モニターからの意見・要望 |
| P5 | トピックス | P18 | 読者からのおたより |
| P10 | 女性部通信 | P19 | お楽しみクイズ |
| P11 | 食農教育 | P20 | アートの広場 |
| P12 | 新たな未来の創造 | | |
| P13 | 旬を食べよう・SDGs | | |
| P14 | 家庭菜園 | | |
| P15 | 農作業の手引き・不動産情報 | | |

新しい夢 **どんどん**
育てよう明日を
JAグループ鹿児島



JA鹿児島みらい



みらいを創る

園芸

カボチャ部会

宇都 輝男さん(58歳) 友希代さん(54歳)

「通勤農業」ですと谷山で農業を営む宇都さんご夫婦。

鹿児島で生まれ育った輝男さん。18歳で鹿児島を離れるときにいずれば生まれ育った鹿児島に帰って農業をしようと思いつきながら、2020年の退職を機に鹿児島にUターンしました。農業を始める前に、都市農業センターに3ヶ月間通い野菜作りのノウハウを学んだあと本格的に農業をスタートしました。

2021年に就農して1年目の秋に失敗もありましたが「日々学びがあるのは嬉しい」と現在はカボチャ部会の会員としてカボチャ(春秋)作りを軸に日々農業と向き合っています。

夏は試験栽培として、カラフルな日本カボチャや白カボチャを作り、秋にえびす、くりゆたか、味平、坊ちゃんカボチャを作っています。

輝男さんは東京で仕事をしながら、世田谷の区民農園で2年間、地元の農家の方に指導を受けて野菜作りを学んでいました。

ご主人の輝男さんより1年遅れで鹿児島にきた友希代さん。2021年10月から2022年6月まで9ヶ月間週1回農業大学で栽培方法を学んだあと、農家で日々の農作業を体験しながら野菜作りを学びました。そのノウハウを活かしてブロッコリーやオクラ、レタス、

ナスなど数種類の野菜を作っています。

宇都さんご夫婦の農業は「責任分担制」でお互い違う野菜を作り、調整作業などは一緒にすることもありますが種蒔きから管理作業、収穫、出荷はそれぞれで行うスタイル。

そんなお二人の目標は、認定農業者になって人を雇えるほどの宇都農園になることと消費者から信頼されるブランドになることで、そのためには歯を食いしばって頑張りたい！

7月からハウス建設の工事がはじまり9月に完成予定なので、中玉のミニトマトを作り直売所への出荷を目指しています。



みらいを創る
畜産



有おおく畜産「みゆき50号」



第12回全国和牛能力共進会へ向けて 2022年度鹿児島中央地区 全共地区2次予選会開催

8月3日、鹿児島中央家畜市場で全共地区2次予選会が開かれ、第2区若雌、第3若雌、第6区総合評価群に13頭が出品されました。

同中央地区では、5月11日に開かれた第1次予選会で46頭が選ばれ、さらに6月の集合調査委員会で13頭に絞られ、今回の第2次予選会となり、管内からは有おおく畜産(第2区・第6区)、千竈裕樹さん(第2区)の3頭が出品されました。

今回の2次予選会に向けて2戸の生産農家では、2度の審査会で審査員から受けた今後の課題をひとつでもクリアしようという関係機関と一体となって定期的な巡回調査を受けながら栄養管理や体の締り、足腰の強化など、今回の全共地区2次予選会にむけて1ヶ月ほどの時間と愛情を注いで牛作りに取り組んできました。

8月3日、全共地区2次予選会では、千竈さんの「つみぎ号」と有おおく畜産の「みゆき50号」と「ゆりとも号」が個体審査前に体高や体長、胸囲、胸深などを測定したあと個体審査が行われ9人の審査員らが審査・協議し、県の最終予選会に出場する8頭を選出しました。

第2区若雌では、有おおく畜産の「み

ゆき50号」が選ばれ、8月29日の県の全共県最終予選会へ出場します。

有おおく畜産の大久竈星さん(29歳)は「これからが本番ですね。限られた時間ですが牛をだれさせないように、出された課題を少しでも強化できるように関係機関の協力をもらいながら、最終予選会に臨みたい」と意気込みを語っていました。

また、千竈さんは「悔しい！今回のことはいい経験になったので、これからの牛作りに繋げて次の全共を目指したい」と話していました。



千竈さんご家族。次の目標に向けて



年金友の会

ゲートボール大会開催



優勝2チーム

7月15日、中山ふれあいスポーツランドの屋内運動場でゲートボール大会が開かれ、5支部9チーム、関係者67人が参加しました。

開会式では、80歳以上の参加者5人に長寿賞が贈られ、最高齢は90歳の幸福フクエさん(花野支部)でした。

コートでは、白熱したプレーの中コート内を走る姿や指示を受けながら的確にボールを転がし相手チームのボー

ルを場外に出すなど頭脳プレーが繰り広げられました。

今回、桜島支部のでこんチームと吉野支部チームが優勝となり、桜島支部の武・西白浜チームが3位に輝きました。

【優勝】 でこんチーム(桜島)

【優勝】 吉野支部チーム

【3位】 武・西白浜チーム(桜島)



優勝

桜島支部
でこんチーム



優勝

吉野支部チーム



第3位

桜島支部
武・西白浜チーム



【田上】満留里子さん(86歳)



①ゲートボール歴
②ゲートボールの魅力

【桜島】上山サダオさん(85歳)

①10年くらい
②最初はルールが分からなかった。
ゲートボールで友達も増えたので一緒に練習をしながらのおしゃべりが楽しみ



【桜島】藤坂宣夫さん(87歳)

①13年
②家でポーツとするより仲間との世間話が最高に楽しい。「べっぴんさん」に会えるのも楽しみ(ひとこと)笑



【花野】幸福フクエさん(90歳)

①何年かわずれました(笑)
②仲間とワイワイ喋るのが楽しい。持ちつつ持たれつつではなく「もたれもたれ」で仲間が甘えています



【田上】荒島洋さん(88歳)

①30年くらい
②スポーツ。チームで作戦を立てながら頭を使って楽しめるスポーツなので高齢になっても続けられる

おいどん市場で鹿児島みらいフェア開催

7月23日、2022おいどん市場与次郎館 Presents JAFフェア第7弾「鹿児島みらいフェア」が開かれ、大勢の来場者で賑わいました。

フェアでは、青年部のメンバーが持ち寄った軟弱野菜やトウモロコシ、ナスなど新鮮な夏野菜のほか、女性部による手作りみそやドレッシング、ふくれ菓子、金柑パウンドケーキなど数多くの加工品を販売し大人気でした。

また、生ごみから堆肥を作るダンボールコンポスター（通称ポット丸）の展示販売と特別企画の抽選会もあり、豪華プレゼントが準備されました。

オープン前には、橋口公治常務のあいさつのあと販売開始となり、部員らは来場者に声をかけながら対面販売を楽しんでいました。

来店者は「作った人の顔が見えて話せるのは良いですね。野菜も加工品も色々ご購入したので家でゆつくり味わいます」と声を弾ませていました。



JA青年部がフードバンクに野菜提供

7月23日、コマツナやチンゲンサイ、ミニトマト、ケールなど14種類の野菜を鹿児島市田上台にあるフードバンクお助けマン鹿児島オフィス（川畑宏樹顧問）に贈呈しました。

青年部では、部員から「子ども食堂に食材を提供したい」との声がありましたがコロナ禍でなかなか活動が出来ず、延び延びになっていました。

今回、JAフェア（おいどん市場与次郎館）での販売用と食材提供用の野菜を持ち寄り、販促のあと夏野菜や軟弱野菜、もち米などをフードバンクに提供し部員らの思いを届けました。

おはぎ配布

星ヶ峯のかごしまこども

も食堂地域ネットワークの「Cafeクラブみんなの食堂」では提供されたニンジンやコマツナ、ミズナ、もち米を使い、ニンジンジュースやドレッシングを作り、8月14日にはお盆に合わせておはぎ2種類（手作り餡子ときな粉）1000個を子供たちや一人暮らしの高齢者に配布しました。



八重倉代表



ホオズキ上々の出来に仕上がる

犬迫支店管内で農業を営む上野ノリ子さん（72歳）のハウスではホオズキの収穫が最盛期を迎え、女性部や常連の方からの予約注文の出荷に連日追われています。

上野さんは、毎年3600本のホオズキを栽培していますが2022年産は風通しを良くして欠損を少なくするために栽培本数を2400本に減らし、大きな実を付けるために4月下旬から摘果作業を行い、ポリウームのある色鮮やかなホオズキ作りに取り組んでいます。

22年産は、梅雨明けも早く例年より1週間ほど早く出荷が始まり、色づきはもろろん実の大きさも良いホオズキに仕上がりました。

作業場では、妹の関山絹代さん（63歳）と二人三脚で1本に12個ほどの実を付けたホオズキの傷玉や下葉などの処理作業をしながら玄関用（3本5本や墓用、仏壇用と飾る場所を考えながら調整作業がお盆前まで続きました。

上野さんは「今年のホオズキは欠損もほとんどなく仕上がりは上々。自分の作るホオズキを心待ちにしていただけで有難い。お盆まで忙しい日が続きますが、1本でも多くのホオズキを届けた」と笑顔で話していました。



国道3号線沿いにヒマワリの花咲き誇る

アグリタウン小山田の入口に数百本のヒマワリが咲き誇り、道行く人に元氣と笑顔を届けていました。

国道3号線沿いに6ヶ所あるヒマワリ畑は小山田校区まちづくり推進協議会ふるとづくり部会(8サークル)が高齢化等で休耕田が目立ち始める中、小山田の町をきれいな花でいっぱいにしたいと「小山田町花いっぱい運動」を2021年の秋にスタートしました。国道沿いにある田畑の遊休地を活用してコスモスの種時き、開花後の自家採種をしながら花が咲き誇る小山田町づくりに取り組んでいます。

今回は、第2弾として背丈の低いヒマワリの種を購入し、メンバーらが試行錯誤しながら1万本分の種を時きました。

同部会の東正美会長は「元気に咲いてくれてホッとしました。9月中旬には町内の子供たちにも声かけをしてヒマワリの種とり作業を計画している。今後は花の量と範囲を町内全体に拡げていきたい」と笑顔で話していました。



組合長らが鹿児島島市長へ要請書手渡す

6月28日、配合飼料価格高騰に伴う購買意欲の低減や枝肉価格の低落による先行きの不安感など2022年5月中旬より子牛価格が急落していることを受け、肉用牛振興会の有村浩一会長、村山眞一郎組合長のほか役員ら5人が鹿児島島市役所を訪れ「肉用子牛価格の急落に関する緊急要請書」を手渡し、支援を求めました。

下鶴隆中央市長に対し、村山組合長が「①繁殖・肥育農家に対する緊急対策として、経営体質強化や生産の安定化を図る農家への支援②配合飼料価格安定制度の十分な財源を確保するとともに配合飼料価格の高止まり時に対する制度拡充を行う」など肉用牛農家の経営安定と生産基盤の維持が図られるように政府等への働きかけを要請しました。



白ネギ生産部会管理講習会

7月28日、営農センターとほ場で白ネギ管理作業講習会を開き、会員と関係者19人が参加しました。

現地視察では、2021年からマルチムギワイド(大麦を活用して、夏場の地温低下と除草作業の負担軽減を目的に試験栽培をした米森遼太郎さん(36歳)の圃地と直置き育苗の試験栽培を実施したほ場を視察し、生育状況等を確認しました。

ほ場では、長谷営農指導員が今後の管理作業として、肥料の価格が高騰しているため、鶏ふん堆肥を活用して肥料コストの削減や8月から9月にかけての病害虫防除や土寄せについて説明しました。最後に台風対策(通過前)の倒伏防止や粒剤散布のほか通過後の軟腐病や白絹病等対策について再確認しました。



太陽光遮光剤散布(Q3ホワイト)

6月29日、太陽光遮光剤の散布が昨年より1ヶ月ほど早く始まりました。

当JAでは、温暖化対策として、ハウス内の極端な温度上昇を防止し、ハウス内での作業環境、作物の生育促進にも効果のある太陽光遮光剤を散布しており、22年度は従来の遮光剤より効果の高い「Q3ホワイト」に遮光剤を変え、軟弱野菜生産部会(優7良)を中心にハウス150棟の散布を計画しています。

今回は、Aコープ伊敷店直売部会の川崎照哉さん(78歳)がハウス2棟に散布を行い「涼しいね。散布する前と後では暑さが違う。遮光することで、野菜も育つし作業も楽になる。効果を確かめるために試験的にハウレンソウを作ってみました」と話していました。



資産管理部会総会

6月26日、第4回総会が谷山東部支店で開かれ会員と関係者43人が参加しました。

総会では、寿福正俊会長と杉山年美管理経済担当理事のあいさつのあと2021年度の活動報告と22年度の活動計画として、不動産経営や税務関係のセミナーの開催や視察研修を行い、会員の知識の向上を図ることを決めました。

引き続き、山下友一税理士が「相続税の基礎知識」と題し、相続税や基礎控除のしくみのほか、相続税の概要と事例を交えてセミナーを行いました。

会員らは「久しぶりのセミナーで再確認することができました。コロナ禍ではありますが先輩方の力を借りながら部会を盛り上げていきたい」と話していました。

相続税



よろず相談会

7月8日と9日の2日間、西谷山支店内で2022年度「よろず相談会」を開きました。

よろず相談会とは、年金・共済・ローンなど組合員利用者の「困りごと」を解決できれば」と21年からスタートし、22年度は新たに不動産事業も加わり実施しました。

会場には、各部の担当者らが待機し、チラシやのぼりを見て相談に訪れる来店者の姿もありました。

年金受給の相談に訪れた60代の女性は「とても親切で分かりやすかった。年金受給の際にはぜひJAでお願いしたい」と話していました。

担当者は「組合員・利用者に親しまれるJAを目指して、今後も開催場所等を検討しながら定期的な開催をしてみたい」と話していました。



農産物直売所「ごしよらん」が出張「ごしよらん

鹿兒島トヨタ南鹿兒島店

7月3日、宇宿にある鹿兒島トヨタ南鹿兒島店のイベントで出張「ごしよらん」を開きました。

同南鹿兒島店では、7月1日から18日まで年に1度のイベントが開催され、ヒザやフレープ、ホットサンドなどのキッチンカーでの販売のほか、今回初めて野菜販売を実施しました。

店内では、朝集荷したゴーヤーやトウモロコシ、カボチャ、ナス、タマネギなど10種類以上をブースに並べ、泊店長らが来店者にチラシ配布をしながらPR販売しました。

来店者は商談の合間や待ち時間に買い物を楽しみ「待ち時間に野菜を買うのは楽しいですね。子供たちがトウモロコシ大好きなので5本購入しました。」と話していました。

原良支店と下伊敷支店

7月15日、原良支店と下伊敷支店の2店舗で移動販売「出張「ごしよらん」を開き、吉野の地域で育てた新鮮な夏野菜をPR販売しました。

今回、初めて実施した下伊敷支店には、ゴーヤーやカボチャ、オクラなど14種類の夏野菜が準備され、窓口での待ち時間に買い求める来店者の姿もあり「面白い物が楽しめるのはJAらしくいいですね。次の販売が楽しみです」と話していました。



はららっぱ農園で秋ナス作りに挑戦

7月17日、原良支店管内にある積水ハウスの分譲住宅地「コモンヒルズはららっぱ農園」で住民ら30人がナスの苗(56本)を定植しました。

同農園には、この日を心待ちにしていた親子連れが集まり、原良支店の蒲池洋平支店長や大栄宮農指導員らが植え付けや今後の管理作業について説明したあと、子供たちは苗を植え、賑やかな声が響き渡っていました。

黒石聡町内会長は「子供たちと生長を見守って秋には夕食の食材として親子で収穫したナスを食べてほしい。第2弾はタマネギ作りを計画しています」と笑顔で話していました。



志學館中等部・桜島小みかん探究活動

7月20日、桜島柑橘選果場に志學館中等部の生徒4人が桜島小みかんの探究活動で訪れました。

同選果場には、桜島柑橘ハウス振興会の白川隆会長や桜島農林事務所、J A関係者も参加し、生徒らはインタビュー形式で事前に作成した質問事項を読み上げ回答を求めました。

白川会長は、桜島小みかんと紅系桜島小みかん(紅さくら)の特長や生産農家ならではの苦労話を交えながら「桜島は活発な活火山なので降灰の影響を小さくするために屋根掛けハウスを使い、美味しい桜島小みかんを全国の消費者に届けたい」と桜島小みかん作りへの熱い思いを伝えました。

生徒たちは、メモを取りながら桜島小みかんについて学び「色々な話がありました。生産者の桜島小みかん作りにかける思いの強さを感じました」と話していました。



桜島大根種子採種

桜島柑橘選果場で2022年産桜島大根F1種「桜島おこじよ」の脱粒作業が始まりました。

「桜島おこじよ」は県の育成品種で18年から鹿児島県や桜島農林事務所、J Aなど関係機関が一体となり現地での育種がスタートし、県内の生産農家に販売しています。22年産は、種子確保のため10月中旬に父株と母株の播種(1千本)をしたあと、5月中旬に茎(花茎部)を収穫、乾燥させるためにハウス内にかけて干しされました。

選果場には、乾燥した茎が持ち込まれ、職員らはサヤを落としたあと脱粒機にかけ種子を確保しました。

園芸農産課の松岡課長は「実入りの良い種子が確保できたので、22年産も美味しい桜島大根を全国に届けたい」と話していました。



水稻中・後期講習会

7月19日から22日の4日間、南部地区から北部地区の22ヶ所157人が参加しました。

北部地区の本名事業所と上河内公民館では、長谷宮農指導員が田植えから1ヶ月が経過した稲の状態や今後の管理作業、海外飛来性害虫の状況報告のあと病害虫防除、農薬の散布のほか、22年産は品質の良い米作りをするために穂肥をするように伝えました。

また、管内で「いもち病」の発生が確認されたことを踏まえ粒剤での防除や粉剤・水和剤等の散布目安などを再確認しました。

長谷宮農指導員は「病害虫による被害は例年に比べ少ないが、今後本格的に害虫の発生が予想されるので自分の目で田んぼの状態を確認して対応してほしい」と話していました。



2022年度広報誌モニター意見交換会開催

7月20日、第1回広報誌モニター意見交換会が本部で開かれ、モニターと関係者ら17人が参加しました。

同JAでは、18年から広報誌モニター制度を導入し、応募のあった組合員や地域住民らが年6回発行する広報誌への意見や要望、特集記事の提案や誌面構成などモニターの意見を取り入れながら読まれる広報誌作りに繋がっています。

会では村山眞一郎組合長がモニターに委嘱状を手渡したあと、広報媒体やホームページ・SNSの紹介のほか広報誌モニターの役割りなどを説明しました。

モニターからは「文字を見るのが苦に感じていたが、今は誌面も読みやすく何度も読むようになった。自分たちの意見が誌面づくりに活かされていることが嬉しい」と話していました。

また、キッズコーナーや川柳の新企画の提案やLINEでの直売所情報の発信など様々な意見要望が出されました。



南部地区・男の料理教室開催

7月27日、谷山東部生活改善センターで男の料理教室が開かれ、参加者と女性部員、JA担当者12人が参加しました。



同教室では、各地区の女性部員が講師となり、管内に住む男性を対象に食と健康、基本の料理法を学び料理を作る楽しさを知ってもらおうと南部地区と北部地区の2地区で年2回ずつ開催しています。

今回は、オクラやゴーヤーなどを使った鶏と夏野菜のヨーグルトカレーやオクラのおかナムル、コマツナジューズなど女性部員の指導を受けながら5品を作りました。

完成した料理は全員で試食し「お腹いっぱい胸いっぱい美味しく。三角巾の付け方も分からず料理作り初体験でした。次回には手際よく料理が作れるように修行をして再び参加します」と話していました。



初盆フェア

6月19日、JA葬祭天祥館東谷山斎場で合同慰霊祭&お盆フェアを開き、初盆を迎える遺族らが訪れました。

ホールでは、管理経済担当の杉山年美参事のあいさつのもと住職による読経が行われ、遺族らが焼香し、亡き故人を偲び供養しました。

お盆フェアでは、遺品整理相談会や相続相談のほか、お盆用品の展示販売、初七日や法要用の仕出し料理の展示、終活写真撮影などのブースが設けられ、遺族らは提灯や仏壇仏具などJA職員やスタッフの意見を聞きながら初盆商品を吟味していました。



3年ぶりに人形供養祭開催

JA葬祭やすらぎ館吉野斎場で6月26日、人形供養祭&お盆フェアが同時開催され、初盆を迎える家族や地域住民らが来場しました。

会場には、提灯や仏壇、精進料理などの展示のほか遺品整理や相続相談コーナーも設けられました。

今回、3年ぶりに人形供養祭も行われ、祭壇には各斎場に持ち寄られた想い出深い雛人形やぬいぐるみ、日本人形などが飾られ、導師により丁寧に供養されました。

参列者の中には、感極まって涙ぐむ人の姿もあり「娘の成長を願って飾ってきた雛人形を持ってきました。ホツとしたのと寂しい気持ちが入り混じっていますが供養できて良かった」と話していました。

ロビーでは、葬儀を行ったご家族に記念品と盆提灯が準備され手渡されました。



女性部通信

女性部リーダー研修会開催

7月1日、本部で第3回リーダー研修会を開き、15支部の三役と関係者43人が女性組織の活動や事例報告、分散会(ワールドカフェ)など盛りだくさんのカリキュラムに参加しました。

会では、緒方由美子部長が「参加しているリーダーさんと今一度原点に立ち返って女性の熱意とパワーを発揮し、今置かれているその場所で花を咲かせましょ」とあいさつしたあと研修会へと移り、女性組織活動「今こそ見つめなおそう」や西谷山支部の川畑功美子支部長が健康教室や支店職員とのランチ会、合同のあくまき作りなどコロナ禍での支部活動を発表しました。

また、分散会(ワールドカフェ)では「Withコロナ時代の女性組織活動〜今できること〜」をテーマに意見交換はリラックスした雰囲気の中でテーマに集中した対話を楽しめました。

全体会では、「イベントへの参加やウォーキング、花見などの楽しみを増やしたい。他支部との交流活動(手芸)を実現したい」など各支部長より多くの意見が発表されました。

また、2022年度の仲間づくりの目標人数として、45人の新規部員を目標に掲げ取り組みことを決めました。



7月14日、職員とのランチ交流会

■中山支部

2種類のカレーと夏野菜を使ったサラダやカボチャの煮しめなど、夏バテ防止料理を職員に振る舞いました。

同支部では、部員と職員の交流を目的にランチ交流会を実施していましたが、コロナ禍の中何度も延期となり、待ちにまったランチ交流会となりました。

コミュニケーション施設では、部員らが持ち寄った野菜を使い、サバ缶やゴーヤー、ナス、ピーマンなど、夏野菜がたっぷり入ったサバカレーやサラダなどの料理を作り、職員との交流を楽しみました。

職員は「久しぶりのサバカレー最高に美味しい。まさに夏バテ防止料理。味比べがたくくて2種類のカレーを食べました」と笑顔いっぱいでした。



■田上支部

田上くらしのセンターで支店職員との初めてのランチ交流会を開き、愛情たっぷりハヤシライスを作る舞いました。

田上支店管内には、これまで5つの支部がありました。5月上旬に田上支部として新たに誕生しました。

今回、職員との交流を目的にランチ会を計画し、部員らは前日から買い出しや仕込みを行い、大鍋いっぱいハヤシライスを作りました。

職員は、交代で食事に訪れ「部員の方と日頃ゆつくり話せないの、ランチ会で色々な話が出て来て大満足です。毎月でもやって欲しい」と笑顔で話していました。



草牟田町

おおぞら保育園(バケツ稲)

6月9日、おおぞら保育園で出前授業を開き、園児30人がバケツ稲作りに挑戦しました。

園庭では、塘宮農指導員がお米や苗の植え方について説明をしたあと、園児らは保護者と一緒に苗の数を数え、4ヶ所に苗(20本)を植えました。

藤村恵子園長は「4回目のお米作りが楽しみです。コロナ禍でも子供たちの成長は止められないので、対策をしながら色々な活動をしていきたい」と話していました。



東谷山小学校

バケツ稲と田んぼで米作り

6月10日、5年生4クラスの児童(150人)が出前授業でバケツ稲とプチ田植えを体験しました。

校庭では、塘宮農指導員から苗の植え方や育て方、日々の管理作業について説明を受けたあと、バケツに苗を植えながら「各クラスで美味しいお米が出るようにハッピー米、う米、my米、すしざん米とお米に名前を付けました。収穫の秋が楽しみ」と声を弾ませていました。

また、5月中旬から牛乳パックで育てたマイ苗(水稻苗)を中庭の田んぼに植え「バケツと田んぼでのお米作り、生長を観察して美味しいお米を収穫しておにぎり頬張ります」と話していました。



中山小学校 地元農家が米作り指導

6月16日、5年生6クラス248人が地元農家の竹内清治さん(74歳)と妻のみちえさん(71歳)から指導を受け、田植えを行いました。

竹内さんご夫婦は、孫が5年生の時に「児童らに米作りを体験させたい」と学校から依頼を受け、毎年学校横にある「中山農園」で田植えから稲刈り、脱穀作業を体験させながら指導しています。

田んぼでは、竹内さんから苗の持ち方や植え方について説明を受けたあと、田んぼに入り掛け声に合わせて苗をテンプよく植えました。

児童たちは「楽しかったけど疲れた。美味しいお米が出来るように愛情を注ぎます」と声を弾ませていました。

吉田南幼稚園

地元農家が園児らに米作り体験

6月23日、園児(年長30人が地元農家の弟子丸一幸さん(33歳)の田んぼで、水稻苗の手植えと機械植えを体験しました。

同幼稚園では、食農教育の一環として、野菜作りやバケツ稲作りをしていましたが、2019年に弟子丸さんが田んぼでの米作りを提案し、園児らは田植えから稲刈りまでを体験しています。

園児らは、大栄宮農指導員から苗の植え方について説明を受けたあと、田んぼに入り願いを込めて苗を植えました。

また、隣の田んぼでは、弟子丸さんが田植え機に園児らを乗せ、機械植えも楽しみました。

弟子丸さんは「体験も4年目になります。米作りを通じて地元(吉田)の米の美味しさを園児に知ってもらい、ここでの米作り体験を大人になっても忘れないでほしい」と話していました。



新たな未来の創造

「JA鹿児島みらい」が創造する
地域に根ざした協同組合



代表理事組合長
村山 眞一郎

持続可能な農業とくらしを守る

「対話と考動で地域の活性化」

J A鹿児島みらいは、これまでJ A経営基盤の強化と事業運営体制を確立するため、「支店機能再構築および支店再編」を進めてまいりました。昨年10月に、農業地域で正組合員の多

い、福平支店(坂之上支店へ統合)を統廃合いたしました。福平支店は組合員のライフラインの機能を担っていることから、組合員の皆様との対話の中で多くのご意見・ご要望を反映して支店再編を実施したところですが、坂之上支店との統合後のこれからの取組みが特に重要と捉えています。

坂之上支店は、J R指宿枕崎線の坂之上駅に近い住宅地に位置しており、旧福平支店管内は、平川ビワを中心に果樹や畑作が盛んな地域であり、近年は新興住宅街として若年層が増加しています。統合後は、農地と住宅地が融合した谷山南部の主要拠点として位置付け活動地域を拡大して事業を展開しています。説明会の中で組合員の皆様の強い要望でありました再編後のインフラ機能を担うため、旧福平

支店にATMを存置し、併せて福平・平川地区に移動金融店舗車の配車などを代替策として実施しているところであり、地域での利用促進に努めております。

J Aでは、高齢化が進む地域の活性化対策として、営農指導員の定期巡回と併せ、地域とのつながりを強化するため、管内直売所「ふるさと物産館」「おいどん市場」をはじめ、系統直売所への農産物販売に繋がるよう、笠松地区で営農塾・貸農園を展開し塾生の育成に取組んでいます。

営農塾「野菜の学校」では、農業初心者を対象に座学や圃場での実践を通じて、1年かけて野菜作りを学習します。貸農園「すずなり農園」では、1年契約(自動更新)で、営農塾や営農相談日を利用して、J Aの営農指導員に相談しながら新鮮な野菜や花づくりを楽しんでいます。また、地域の活性化はやはりJ A女性部の協力なしでは成り立ちません。坂之上支店統

合後、J A鹿児島みらい女性部・坂之上支部として今年4月には坂之上支部設立総会を開催し、新たな船出を行いました。基本的には坂之上支店2階を拠点として、グループごとの活動となりますが、旧福平支店事務所も活用しながら、お互いの活動を実践しつつ、坂之上支店を拠り所として地域の活性化に繋がる統一した活動の展開が進められています。

一方、南部地域は従前から購買店舗「グリーンセンター西谷山」を経済事業の拠点として、全域での活動を展開しております。南部地域での園芸作物や花など営農指導への要望も多く、2名の営農指導員がグリーンセンター西谷山に駐在して、営農相談や現地指導に当たっています。営農指導を通じて地域の活性化を図ることは、J Aの使命と認識いたしておりますので、営農相談など積極的にご利用いただきたいと思います。

農協では今後とも組合員の皆様と農協の自己改革の取組みについて、組合員訪問活動や徹底した話し合い活動を通じて、地域のご意見を農協事業に反映できるよう取組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

★9月の運勢★

牡羊座
3/21~4/19

【全体運】身の回りのことを優先。食事の支度や掃除に力を入れるとうれしいことがありそう。健康に関する番組も◎
【健康運】ストレッチで体調が改善。散歩もお勧め
【幸運の食べ物】セロリ

牡牛座
4/20~5/20

【全体運】好調運。遊びに行く話には積極的に参加しましょう。おしゃれに時間とお金をかけるのもお勧め。芸術鑑賞にツキ
【健康運】腹八分目で健康に。野菜はたっぷり取って
【幸運の食べ物】サラダカラシナ

ショウガ

昔からショウガは、薬として用いられることも多く、現代でも漢方やサプリメントなどに広く使われています。その効能の中心となるのが、ショウガオールとジンゲロール。血流や消化をよくし、新陳代謝を高めるとされており、冷えをはじめとする様々な体の不調を改善してくれます。また、がん予防や口臭軽減などの効能も備えており、健康を維持するために欠かせない食材です。四季を問わずに使えるので、色々な料理に役立てましょう。



経営企画部
福山生活指導員

きのこ生薑の炊き込みご飯

材料 2合分

米	2合
しめじ	1パック
油揚げ	1枚
生姜	1片
白だし	大さじ3
濃口しょうゆ	大さじ2
酒	大さじ2
みりん	大さじ1



作り方

- ①しめじは石づきを取り除き、手でほぐす。生姜は皮をむき、薄い千切りにする。油揚げは縦半分に切り、5mm程度の幅に切る。
- ②米を研いで炊飯器の内がまに入れる。白だし・濃口しょうゆ・酒・みりんを入れてから2合の線まで水を入れる。しめじ・油揚げ・生姜も入れて炊飯する。

鶏むね肉のはちみつ生姜焼き

材料 4人分

鶏むね肉	350g
玉ねぎ	1個
生姜	2片
小ねぎ	お好み
○砂糖	大さじ1/2
○塩	小さじ1
片栗粉	大さじ1
◎濃口しょうゆ	大さじ2
◎はちみつ	大さじ2
◎みりん	大さじ1



作り方

- ①鶏肉は余分な脂を取り除き、繊維を断つようにして一口大に切る。(皮はお好みで取る)切った鶏肉に、○の砂糖と塩を順番によくすりこむ。
- ②玉ねぎは半分に切ってから、繊維に沿って薄切りにする。生姜は皮をむき、千切りにする。
- ③フライパンに油を入れて、玉ねぎと生姜を炒める。その後、鶏肉に片栗粉を薄くまぶし、両面を焼く。
- ④鶏肉に火が通ったら、◎の濃口しょうゆ・はちみつ・みりんを入れて全体に味が絡むように炒める。
- ⑤お皿に盛りつける際に、お好みで小ねぎをのせて完成。

持続可能な社会を目指す！

SDGsの行動として、JAの具体的な取組み事例を紹介します。組合員の皆様も様々な社会の課題とSDGsとのつながりを学び、今日から実践できる取組みを共に考えましょう。

●JA青年部がフードバンクに野菜提供(P5)

子ども食堂・フードバンクの運営・協力。安心安全な食料の提供。



●原点に立ち返って女性の熱意とパワーを!(P10)

仲間づくり・組織づくりをすすめる。JA運営に積極的に参画する。



●太陽光遮光剤散布(P6)

温暖化対策で温度上昇を防止し、ハウス内作業環境、作物の生育促進に効果。



★9月の運勢★
双子座
5/21～6/21

【全体運】何かにつけてやり過ぎてしまいがち。始める前に自問自答を。計画を立てる慎重さがピンチの回避につながります
【健康運】ハードな運動も楽しめます
【幸運の食べ物】ジャガイモ

蟹座
6/22～7/22

【全体運】交通が活発化。聞きたくない話もありますが良い話の方が多め。好情報もキャッチできます。うわさ話は控えて
【健康運】よくかんで食べて。脳の動きにも好影響
【幸運の食べ物】ルッコラ



コカブ

すじまきでも育てられますが、点まきのほうが間引きの回数が1回で済み、タネの節約にもなります。マルチと防虫ネットを使うと、品質のよいものが収穫できます。

1.種まき

栽培スペース全体に元肥を施し、クワでよく耕す。畝立て後、株間15cm、条間15cm、5列の穴あきマルチを張る。このまま1~2週間ほどおく。



マルチの各穴に指で深さ1cmのまき穴を明け、3粒ずつ種をまく。



土をかぶせ、手で押さえる。押さえることによって、水分が地中から上がってくるので水やりは不要。

2.防虫ネット

アオムシなどの害虫の被害にあいやすいので、種まき後すぐに防虫ネットをかけて侵入を防ぐ。



トンネル用の支柱を立て、骨組みをつくる。



両端をUピンなどで留める。害虫の侵入を防ぐため、その部分に土をかぶせてすき間をつくらないようにする。

3.間引き

本葉2~3枚(3枚めの本葉が出かかったころ)、生育の良い株を残し、1本に間引く。



間引き後の様子

4.追肥

間引き後、マルチの各穴にひとつまみ(10粒程度)の化成肥料をまく。または、規定倍率に薄めた液体肥料を水やり代わりに与えてもよい。



5.収穫

根の直径が5~6cmになったら収穫適期。遅れると根の表面が割れたり、すが入ったりするので、とりごろを逃さないようにする。



葉を束ねて持ち、引き抜いて収穫する。



カブの品種はどう選ぶ?

カブは根の直径が5~6cmの小カブのほか、10~14cmの中カブ、15cm以上の大カブに分けられます。家庭菜園では、栽培日数が短い小カブが作りやすくておすすめ。個性豊かな地方品種も豊富にそろっているので、いろいろな品種を少しずつ育ててみるのも楽しいでしょう。

右の写真の「もものすけ」は、甘くてジューシーで柔らかいフルーツカブです。いつものカブ作りに追加して作るのも楽しいかもしれませんですね。



★9月の運勢★
獅子座
7/23~8/22

【全体運】 高め安定運です。おいしい物を食べに行ったり温泉を楽しんだりして。気の置けない人たちと過ごすのがお勧め
【健康運】 グループで楽しめるスポーツにツキあり
【幸運の食べ物】 サトイモ

乙女座
8/23~9/22

【全体運】 運勢には勢いがあり注目度が高め。外野がうるさく感じられることもありますが味方が大多数です。早めの行動が吉
【健康運】 けがに気を付けて。高所での作業は慎重に
【幸運の食べ物】 アサリ

肥料・飼料価格高騰対策について

●国は農家経営への影響を緩和するため、化学肥料の2割低減の取組を行う農業者に対して前年度からのコスト肥料高騰分の7割を支援する肥料価格高騰対策事業を令和4年8月1日に閣議決定しました。詳細内容については決定次第ご案内いたします。

●経済連は令和4年度推奨品目(下記の15品目)に対し、令和4年7月から9月末まで袋当たり300円助成いたします。

(対象品目)

硫安(大粒)・硫安(細粒)・オール14・微量元素入BB642・蜜のめぐみ1号・蜜のめぐみ2号・BBNK55一般用・みかん春ライト・みかん秋ライト・桜島小みかん配合・吉野野菜・くみあい有機801・尿素硫加磷安48号・BB48・硫加磷安250

●当JAでは、農家経営支援の対策として、令和4年9月～令和5年2月末まで取扱肥料の価格設定について、全品目のJA手数料5%を引き下げた支援対策価格で提供させていただきます。

また、飼料につきましては、令和4年9月～令和5年2月末までの取扱高に応じて、令和5年3月に畜産農家支援対策を行います。

旧笹貫・薬師堂支店の売却について

旧笹貫・薬師堂支店は令和2年8月に谷山東部支店へ統合し、その後の有効活用について理事会等で協議を行ってまいりましたが、令和4年度の事業計画において売却に向けた手続きを進めていくことを総代会に提案し、ご承認をいただきました。

旧JA東部時代から長年にわたって組合員・地域住民の皆様にご利用していただいた店舗でございましたが、今後のJA鹿児島みらいの組織基盤構築のため、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

尚、両物件の売却手続きの詳細につきましては、(株)共栄会までお問い合わせいただきます様よろしくお願い致します。

お問合せは
(株)共栄会 鹿児島市堀江町19-1
TEL 099-222-2843
担当:梅寺・神守

旧笹貫支店



住所:東谷山1丁目11-16
地目:宅地 土地面積:273.67㎡

旧薬師堂支店



住所:東谷山3丁目32-23
地目:宅地 土地面積:387.17㎡

★9月の運勢★

射手座
11/23～12/21

【全体運】運勢は波乱含み。気を引き締めていきましょう。大事なことは念を入れて確認を。連絡手段の確保も重要です
【健康運】関節のケアを。腰のストレッチも欠かさず
【幸運の食べ物】ミョウガ

山羊座
12/22～1/19

【全体運】努力が実を結び結果を出せます。さらに上を目指して歩みを進めましょう。意思表示すれば協力者も集まるはず
【健康運】夜更かしは控えて。規則正しい生活で安泰
【幸運の食べ物】アマエビ



唐芋菓子専門店「フェスティバロ」

株式会社フェスティバロ社は、鹿児島県鹿屋市に本社を置く製菓業社で、サツマイモとなる原材料も自社栽培し、156品種という多彩な唐芋を育てています。フェスティバロの商品は、自社生産で季節限定の唐芋ケーキも次々と販売しておりますので、是非ご賞味ください。

鹿児島市内にも天文館店のほか山形屋など複数の店舗があり、地元の方はもちろん観光客にも大人気のお店です。

営業時間等は店舗により異なりますのでHPでご確認ください。

<https://www.festivalo.co.jp>



JADDOカード特典



2,000円以上購入で
**西洋風唐芋
(ハイカライモ)
1個プレゼント**
※提示者本人のみ

広報誌モニターからの意見・要望

【意見】

- 投資信託商品を販売される時に購入者にJA鹿児島みらいとの関連性を十分に説明してほしい
- 町内での食農教育すばらしいアイデアだと感心しました
- 春菊の栽培方法を詳しく解説してあるが、種まきの時期も書いた方がいいと思う。〇月〇日とか
- 生産農家について興味が湧いてきます
- 運勢が6ページに分けて記載されているので半ページにまとめてもらいたい
- 当選者でペンネームが同じ人がいた時は当選した人にも理由を言って連絡してほしい。自分のペンネームが出ているのに待っても何も無いので
- 生ごみのアップサイクルで堆肥作りを拡大して私たちにも作り方を教えてほしい
- 広報誌みらいを色々な場所で読んでいただいている様子が伺えて嬉しいです
- スペースの問題もあるでしょうが女性部通信の写真をもう少し大きく載せられたら、なおさら良い
- ひとりでも多くの人に広報誌に目を通してほしい

【要望】

- 特集記事の要望・相続・葬儀・年金の事がいまいちよくわからないので特集にして紹介してもらいたい
- 記事によってはQRコードを付けて記事の深掘りをしてほしい。7月号は不動産部と厚生連病院の広告にだけQRコードがついていた
- 貯金の金利についてしっかり知りたいです
- 誌面数を増やしてほしい(更に内容が充実するのではないのでしょうか)
- 俳句・短歌(大人・子供)を募集して掲載しては



読者からの

おたより



■第12回全共鹿児島大会頑張ろう。日本地図を見ていると地形が牛の形と同じとある。日本全国民が応援しています
(坂之上・70代男性)

■広報誌みらいは時々頂いていますが今月号は何故か隅々まで読ませていただけました。いつもは家庭菜園と読者からのおたより、アートの広場を楽しんでいました。組合員の皆さんの意見・要望に熱意を感じ、トピックスでJAの取組みを知り、女性部通信・食農教育で女性や子供たちの活動学習に感動！JAならではの地域密着ですね
(ペンネーム・ゆうちゃん)

■7月号表紙の園児たちとても真剣な表情でした。食べたい作りたい野菜づくりを子どもの頃の体験として成長していければ好き嫌いも無くなりそうですよ。野菜を育てお世話して最後はお腹におさまるまで。時間をかけての食育の輪が広がっていくと嬉しいです
(ペンネーム・まあちゃん)



■最近サラリーマンの息子が農業を教えてほしいと話しかけてきました。早速、野菜を畑に植える基本から教え始めたところです。JAさんから紅さつまの苗を購入し生長を見守りたいと思います。休日のみの農作業です(笑)
(ペンネーム・キョットン吉野)

■アボカドが大好きなので、是非「Arinco」に行ってみたくて思いました。心ゆくまで堪能したいです。JADDOカード特典もあつてお得ですね
(ペンネーム・ゆきりんこ)

■ふるさと物産館にも広報誌みらいが置いてあることを今日知りました。嬉しいでした。貴誌は情報いっぱい読み応えがあります。絵手紙コーナー楽しく拝見しています。みなさんお上手ですね。私も書けるようになりたいと思いました
(喜入中名町・70代女性)

■おいどん市場と次郎店でJA鹿児島みらいの広報誌をいただいたいきましたので読んでみました。頭の体操に楽しみワイズを解いてみました。シユンギフをペランダで育ててみたいと思います
(ペンネーム・やすこちゃん)

単位:頭・円 (税抜価格)

7月子牛セリ市成績表(売却のみ)

	みらい計	畜連計
総頭数	129	414
総平均	594,233	567,563
めす	頭数	58
	最高	836,000
	最低	300,000
	平均	533,862
去勢	頭数	71
	最高	905,000
	最低	311,000
	平均	643,549

JA鹿児島みらいの概況 (2022年7月末)

正組合員数	6,043人
准組合員数	37,158人
総組合員数	43,201人
貯金残高	2,821億5千4百万円
貸付金残高	943億5千3百万円
長期共済保有高	5,661億2千4百万円

理事会だより

第4回(6月27日)

- ① 委員会設置要領の一部改正について
- ② 理事会規程第10条に基づく委員会委員の選任について
- ③ 新規貸出案件について
- ④ 令和4年度の余裕金運用の方針および債券運用の開始にかかる関係規程類制定について
- ⑤ 役員による全組合員訪問運動について
- ⑥ 令和4年度夏季賞与の支給について
- ⑦ 売買価格の設定について

第5回(7月26日)

- ① 新規貸出案件について
- ② 定款の一部変更にかかる字句修正について
- ③ 事務リスク管理規程の一部変更について
- ④ 旧笹貴・薬師堂支店の売却手続きについて



お楽しみクイズ

正解者の中から抽選で20名の方に農協共通商品券をお送りいたします。

応募方法

左下のハガキを切り取り、必要事項をご記入の上、

- ①支店窓口にお持ちいただくか、
- ②63円切手を貼ってポストに投函してください。

[締切] 2022年10月7日(金) 必着

クイズの答えにおたよりを添えて、どしどしご応募ください。身近な地域の話、イラスト・絵手紙・写真などの作品もお待ちしております。
[おたより]クイズの答えにまつわるエピソードのほか、JAに対するご意見・ご感想、良かった記事など教えてください。

■7月号お楽しみクイズ
当選者発表(敬称略)

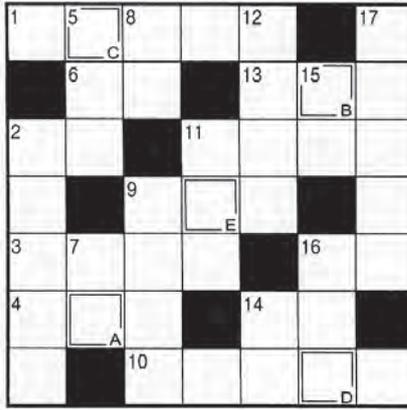
ゆうちゃん	黄色のミニトマト	昭和の青年
やなばあ	帖地美枝	内村等さん
ばあーびー	福森りん	まくん
ヒーコン	内村雅人	豆タンク
がねこ	前田克信	挑戦者
丸い大きな青ちゃん	岩元ヒロ子	和田のばあば
あにー	寺園和子	

キリトリ線

▼本誌へのご意見、身近な地域の話、イラスト、絵手紙、写真などお書きください。

ペンネーム

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A B C D E

⇒ヨコのカギ

- 1 女郎花と書く秋の七草。同じ——科の植物にオトコエシというのがあります
- 2 頭隠して——隠さず
- 3 すいっちゃんと鳴く虫
- 4 インフレのときに上がります
- 6 贈答品に付けます
- 9 風が吹くともうかるかも
- 10 フェルメールの代表作『真珠の——の少女』
- 11 店の中に他の客はいません
- 13 薬の——は徐々に表れた
- 14 紙を燃やすと残ります
- 16 10を3回掛け合わせると

↓タテのカギ

- 2 令和4年9月23日は——の日。国民の祝日です
- 5 秋は稲や栗、ブドウなどいろいろな作物が——を迎える季節です
- 7 竹や梅と並んでめでたい植物
- 8 幸水や豊水が広く作られています
- 9 『赤ずきん』ではおばあさんに化けました
- 11 節約のために——簿を付け始めた
- 12 楽団の前でタクトを振ります
- 14 お彼岸には掃除に行つて手を合わせる人が増えます
- 15 ピンチなんです！
- 16 長く続けると足がしびれることも
- 17 ——コーヒー、——フットボール

第12回 全国和牛能力共進会
和牛フェス
in かごしま
2022

和っ!と驚く美味さが 牛っ!と詰まった
和牛の魅力を鹿児島から

開催場所

【種牛の部】霧島市牧園町
【肉牛の部】南九州市知覧町

令和4年

10.6(木)
10.10(祝・月)

【入場無料】

第12回全共鹿児島大会
マスコットキャラクター
「かごうしママ」



5年に1度、「和牛日本」を決める
「和牛の祭典」が
令和4年、鹿児島で開催!

アートの広場

素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。
 全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。
 ご了承ください。



たいちゃん



まゆこ



つるひめ



はんちゃん



♡いっちゃん



いっちゃん



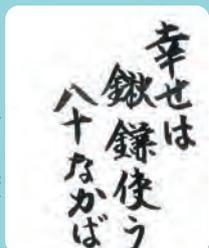
うほば



岡ワカメ



りりたん 9才



前田逸子さん



まりちゃん



みこちゃん



れいくん



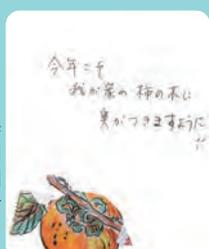
がねこ



ともちゃん



ひろちゃん



寺園和子さん



和ちゃん



四季咲



ペットボトルキャップ回収運動のご案内



家でねむっている
 ペットボトルキャップは
 ありませんか？

当JA女性部では令和2年からJA県女性協結成65周年記念SDGsに係る統一行動として各部課店と連携し、ペットボトルキャップ回収運動を行っています。

当JAもSDGsの達成に貢献する取り組みとして、女性部を中心に引き続きペットボトルキャップ回収運動を行って参りますので、組合員・地域住民の方々のご協力をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

1. 運動内容

ペットボトルキャップの回収(世界の子どもにワクチンを!)

2. 回収方法

各支店の窓口または本部経営企画部へお持込みください。

【注意事項】

- ・キャップは汚れていないものとする。
- ・醤油などのボトルキャップは除く。

郵便はがき

〒63円切手を貼って下さい。
 又はJA窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿児島市小川町27番17号
 JA鹿児島みらい本部
 広報誌 9月号

「お楽しみクイズ」係

9月号 クイズの答え					
お名前		年齢		性別	男・女
住所	〒 -				
電話番号					

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、抽選、商品発送以外の目的で使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。